

# 笠井・李源氏が懇談

## 文化財広く観覧へ共に力を

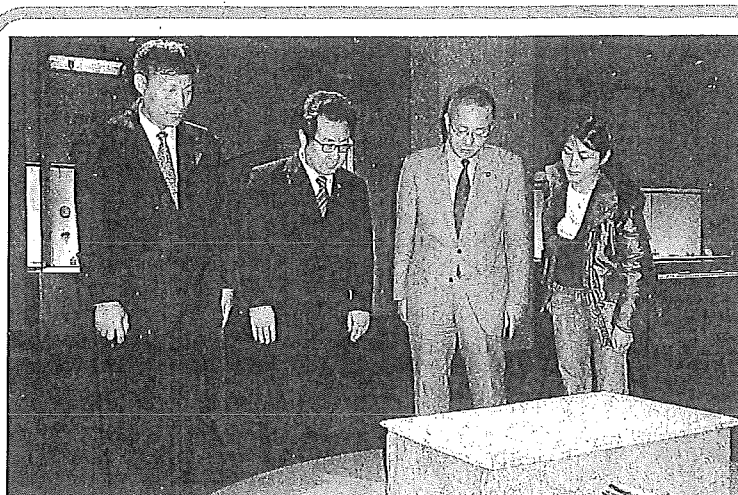
化財「朱ヒロード地金銀装甲冑（かっちゅう）と「紫縮緬（ちりめん）冠」の特別観覧が実現したことに、観覧のため尽力した笠井氏に感謝の意を表明しました。

日本共産党の笠井亮衆院議員は6日、朝鮮半島由来の文化財問題で来日した韓国の李源（イ・ウォン）大韓皇室文化院理事長一行と懇談しました。李源氏は、大韓帝国初代皇帝・高宗（ゴジョン）のひ孫に当たり、韓国で高宗皇帝にかかわる祭祀（さいし）を主管しています。

懇談のなかで李源氏は、来日中の5日、東京国立博物館が所蔵する李源氏の曾祖父・高宗皇帝由来の非公開文

物館側によれば、甲冑とかぶとは、日本の植民地支配時代、事業家の小倉武之助氏が朝鮮半島で収集した1000点余にのぼる小倉コレクションの一部。1981年に博物館に寄贈されて以降、一度も一般公開されたことがなく、韓国側が直接観覧したのも李源氏一行が初めてです。笠井、李源両氏は、今回の特別観覧を契機に、今後、これらの貴重な文化財を日韓両国の多くの国民が観覧できるように知恵と力を合わせること約束していました。

李源氏一行の特別観覧については、韓国のKBS（公営放送）をはじめ、YTN、韓国日報、京郷新聞など多くの韓国メディアが報道。朝鮮日報も「日本共産党の笠井亮衆院議員が支援した」と報じました。



東京国立博物館東洋館で観覧する李源氏（左から2人目）と笠井亮衆院議員（その右）ら6日、東京都台東区

### 李源氏と笠井議員 朝鮮半島由来の文化財観覧 東京国立博物館

日本共産党の笠井亮衆院議員は6日、日本を訪問中の韓国の李源（イ・ウォン）大韓皇室文化院理事長一行とともに東京国立博物館を訪れ、博物館側の案

内で朝鮮半島に由来する所蔵文化財などを観覧しました。

李源氏は、大韓帝国初代皇帝・高宗（ゴジョン）のひ孫で、笠井氏とは朝鮮王朝時代の文化財「朝鮮王朝儀軌」の返還問題を通じて交流があります。

笠井氏らは、耐震改修工事を経て1月2日からリニューアルオープンした博物館内の東洋館を訪問。博物館側から詳しい説明を受けながら、朝鮮の青銅器や、三国、高麗、朝鮮王朝の各時代に作られた磨製石器や金冠、陶磁、仏教美術などを観